

## 令和7年第12回菊池市教育委員会会議録

日 時 令和7年12月17日（水）午後3時30分

場 所 キクロス 大研修室

出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	岩 根 美 紀
教育委員	白 木 辰 也
教育委員	三 上 かおり
教育部長	前 川 幸 輝
生涯学習センター長	吉 川 良 二
教育審議員	冨 永 泰 寛
学校教育課指導主事	清 永 邦 宏
学校教育課指導主事	北 村 美 紀
学校教育課長	岩 根 貴 史
学校給食管理室長	財 津 裕 一
文化課長	坂 本 憲 昭
生涯学習課長	川 口 克 明
菊池市立図書館長	松 寺 盛 親
社会体育課長	川 島 健 一
学校教育課課長補佐	本 山 大 翁

18 / 18人

日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 議事案件
  - 議案第32号 菊池市公共施設予約システムの運用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について（社会体育課）
  - 議案第33号 菊池市無形民俗芸能団体活動補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について（文化課）
5. 報告案件
  - 報告第19号 学校施設の耐力度調査の結果について（学校教育課）
  - 報告第20号 菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況について（学校教育課）
  - 報告第21号 菊池市市民会館（文化会館・泗水ホール）の検討状況について（文化課）
6. その他
7. 閉 会

8. 教育委員会各課からの事務連絡等

①総合教育会議の議題・項目について

②行事予定について

③次回の教育委員会議

令和8年1月19日（月）13:30 キクロス大研修室

④その他

令和7年度総合教育会議（1/19（月）教育委員会議終了後）

## 開会

音光寺教育長 皆さん、御起立をお願いします。

こんにちは。ただいまより令和7年第12回教育委員会議を開会いたします。  
よろしくお願いします。

御着席ください。

それでは、会議次第に従い、会議録の承認についてを議題といたします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和7年第11回菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について、異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議ありませんので、令和7年第11回菊池市教育委員会の会議録については承認することに決定いたします。

次に、教育長の報告を議題とします。私より報告をさせていただきます。

まず、1、動静についてです。

11月19日(水)、泗水東小学校の総合訪問、お世話になりました。

20日(木)、庁議。

21日(金)、第1回小川奨学金選考会。泗水小学校の研究発表会、こちらも大変お世話になりました、とてもいい授業が行われました。

22日(土)、菊池ロータリークラブ小中学生モルック大会が市民広場で行われております。

25日(火)、管内四者人権・同和教育研修会。

26日(水)、菊池市議会の開会。旭志中学校の総合訪問、こちらも大変お世話になりました。

27日(木)、特別支援学級指導力向上研修会。菊池北小学校で、杉谷先生の公開授業が行われております。

29日(土)、キクロスまつり。

30日(日)、菊池少年自然の家50周年記念式典に参加しております。

12月1日(月)、宮崎県西米良村で行われた菊池祭に参加しております。

2日(火)、市議会の本会議と予算決算常任委員会。

3日(水)から5日(金)まで、市議会一般質問が行われております。

6日(土)、菊池ふるさとかるた大会。

8日(月)、校長面談。

9日(火)と10日(水)、市議会の常任委員会と校長面談。

11日(木)、市内校長会議と校長面談。

12日(金)、キクロスカレッジの運営委員会、ESDティーチャープログラム、社会教育委員会議に出席しております。

13日(土)、菊池市人権フェスティバル。

14日(日)、泗水剣道大会。

16日(火)、民生委員・主任児童委員の臨時総会、市議会の予算決算常任委員

会、学校規模適正化基本計画策定委員会を行っております。

本日が、庁議、行政改革推進本部会議、教頭会議、教育支援委員会、教育委員会会議となっております。

次に、2、校長会議の件について報告いたします。

(1) はじめに、児童生徒のがんばりということで、第58回熊日学生音楽コンクール中学生合唱部門、優秀賞に菊池南中学校の合唱部が選ばれております。

次に、全国中学生人権作文コンテスト県大会、特別賞・熊本日日新聞社賞を菊池南中学校1年生の末田さんが受賞しております。この内容については、熊日新聞に全文が記載されておりました。すばらしい賞を受賞されています。

ロータリーモルック大会にも多くの子供たちが参加しています。昨年よりも多くの子供たちが参加して、晴天で、子供たちが日頃から学校でモルックを練習している様子がよく分かりました。

また、ふるさとかるた大会が行われましたが、これも、全ての小学校から参加していただきまして、泗水西小学校が高学年の部で連覇を果たしてくれました。低学年の部は菊之池小学校が連覇。先生方にお聞きしたら、休み時間や昼休みに子供たちは練習しているということです。ふるさとかるたが、広く子供たちに根づいてきているなと思っております。

健康づくり教育の熊本県の最優秀賞を、旭志中学校が受賞しております。今、全国大会に出品されております。

泗水西小学校が、外国から来られた労働者の方との交流・講演会を行っているという新聞記事や、菊池南中学校が、菊池市で昔に栽培されていた「ムラサキ」という紫に染色する植物があったということで、それを地域の方と栽培して、菊池農業高校も協力していただき、染物にしているという新聞記事が載っておりました。また、泗水東小学校児童の記事も若者コーナーの欄に載っておりました。

地域と学校の連携・協働推進実践交流会、菊池郡市地域と山鹿地域をまとめた研修会が七城公民館で行われましたけども、そのときに、七城中学校の生徒会より、ビオトープをどのように整備したかという発表をしてくれました。とてもすばらしい発表で、参加者約100人の前で堂々と発表している様子を見て、来場者は非常に感心をされておりました。子供たちが発表すると大人も頑張らなければという雰囲気になって、とても高い評価を受けております。

学校訪問では教育委員さん方に大変お世話になりました。学校教育目標の具現化ができているかどうかというところで気になる点があったということで、学級差、学年差、そういったものが見られたとのことでした。

また、学級集団づくりで、ほとんどの学校は教師と子供の環境づくりは非常にいい状況になっているのではないかと、教職員間の人間関係もいいところが多く見られたので、働く環境もよくなっているのではとお話ししました。

授業づくりでは、主体的・対話的で深い学びを意識している授業が、小学校では多く見られたこと、ただ、指導力の差があるということ、中学校はどうしても教師主導での授業が多かったということをお話ししています。

I C Tの活用も、学校によって大分差があったように思います。本当によく活

用している学校はどんどん進んでいるなと思いました。

E S Dは全ての学校で取り組んでいただいていることをお話ししましたが、体力向上に向けた取組などは、学校によっては少し差があるように感じたところ です。

学校環境全体としては、非常に整備されているということでお話をしております。

テスト問題の管理や著作権のことについても、今からテスト等が多くなりますので、きちんと管理をお願いしますと話をしております。

次に、2、次年度の方向性としましては、小規模特認校の継続ということで、来年で3年目となります。今、花房小学校は2クラス複式学級がありますが、来年度は全て単式学級になりそうな状況です。泗水西小学校も小規模特認校ですが全て単式学級。ただ、戸崎小学校では、来年度は1クラス複式学級ができそうというところですが、ある程度、小規模特認校制の導入効果が現れているのではないかと考えております。

E S Dティーチャープログラムも、先日、奈良教育大学から来られて指導していただきましたが、来年度も継続していただけるという話でした。

S D G s フェスティバルをまた2月に行いますけども、次年度も継続しますし、人権教育主任研修会も年2回継続して行います。

学力向上と授業改善については、次年度に考えているのが、授業力向上の対策として、若い先生が多いのでベテランの先生の授業を参観できる体制を市として取っていきたいと考えています。学年で1人しかいらっしゃらない学校というのが結構ありますし、中学校でも教科で1人しか先生がいらっしゃらないというところもあります。若手の先生が多いということもあり、お互いにいい授業づくりができるように、市全体として取り組みができないかと考えております。

働き方改革は、週2回の5時間授業を実施。

菊池っ子60運動の取組を次年度もP T Aと連携してやりたいと考えています。来年度の構想としては、フォーラム事業ということで国からの補助金を活用し、市全体として市民の方々も巻き込んで何かできないかと考えております。学校・保育園・幼稚園にお願いしますが、市全体としての取組として広げていきたいなと思っております。

体験活動は、サステナ学び旅を継続して行います。

S T E A M教育としましては、芸術体験で小学校3年生の演劇、少年少女発明クラブの継続、それと文化課の伝統芸能まつりを継続してやっていきたいと考えております。

校内教育支援センターを拡充するということで、今、泗水中、菊池南中、七城中に整備していますが、これを、ほかの中学校並びに小学校まで拡充できるならと考えております。

この他、運動している子・していない子の体力の差が出てきていますので、小学校の体育の充実を図りたいと考えております。

次に、3、連絡事項につきましては、人事異動についてはヒアリング等の実施

によりきちんと意向を伝えていただきたいということです。

特別支援学級の新設・増設は年明けてから明確になるとお話ししております。

安心・安全な学校づくりですが、インフルエンザが非常に流行っておりまして、12月になって一気に感染者が増え、昨日現在で、延べ9校で24学級が学級閉鎖しております。今年は例年よりも流行が早く、今日も学級閉鎖が起きており、年内までは非常に流行していますので、皆さんもインフルエンザに気をつけていただければと思います。

学力向上につきましては、冬休みの課題や、休み期間中の学習習慣の育成、読書時間の確保をお願いしております。

生徒指導等につきましては、性暴力等についてはテレビ番組のNHKスペシャルで「加害の扉が開くとき」という特集がありました。成人して性暴力等の加害者になる方は10代のときにそういう経験があるというような話が紹介されていまして、10代のときの指導が大事だということで話をしております。また、警察との連携についても通知が来ていますので、学校で共有するように話をしております。

冬休み期間中も、不登校児童生徒とのつながりや、生活習慣についてもお願いしているところです。

人権教育については、熊本市で全国人権保育研究集会が1月24日と25日にありますので、参加をお願いしております。

不祥事防止につきましては、飲酒運転の根絶と交通事故防止等もお願いしているところです。

その他としまして、1月14日に、菊池南中学校の研究発表会に文部科学省の初等中等教育局の藤野敦視学官においでいただくようお願いしています。これは、E S Dの研究指定を国立教育政策研究所から受けたときの担当調査官の方で、その際はコロナ禍で発表会ができなかったもので、ぜひ今度見に来ていただきたいとお願ひしたところ、それがかなったということです。翌日には、校長先生方に、次期の学習指導要領とE S Dについて講演をしていただくことをお願ひしたところ快諾していただいたので、講演会を予定しています。

では次に、3、今後の予定です。

12月19日(金)、市議会の閉会。

20日(土)、キクロスカレッジの閉講式と、菊池市の読書感想画コンクールの表彰式を予定しております。

22日(月)、学校規模適正化審議会。

23日(火)、給食のあり方検討会。

24日(水)、後期前半の終了。

25日(木)、菊池市教育振興小川奨学金奨学生の二次審査。

28日(日)、市消防団による年末警戒の出発式。

1月5日(月)、仕事始め式。

6日(火)、庁議。

7日(水)、後期後半の開始と管内教育長会議。

9日(金)、部落解放同盟新春旗開きと講演会。

11日(日)、菊池市二十歳を祝う集い。こちらは教育委員さん方にもお世話になります。よろしくお願いします。

14日(水)、熊本の学びプロジェクト校の菊池南中学校の研究発表会。

15日(木)、市内校長会議。

16日(金)、菊池地域人権・同和教育研修会。

17日(土)、地域と学校の連携・協働フォーラム発表会。

18日(日)、菊池市消防団の出初式。

19日(月)、教育委員会議と総合教育会議になっております。

ただいまの教育長報告について何か質疑等はございませんでしょうか。

委員一同     なし

音光寺教育長    ないようですので、これで、教育長の報告については終わります。

それでは、議事に入ります。

議案第32号、菊池市公共施設予約システムの運用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について、事務局より説明をお願いします。

川島課長。

川島社会体育課長    社会体育課でございます。

議案書3ページをお願いします。

議案第32号、菊池市公共施設予約システムの運用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について、説明申し上げます。

提案理由は、本年度、菊池市の公共施設予約システムを構築しており、新たな機能を追加することに伴い、規則の一部改正が必要となるためです。

なお、規則の改正点につきましては、資料の10ページから16ページの新旧対照表で説明を申し上げます。下線部のところが改正箇所となりますが、文言等の簡易な修正については説明を省きたいと思います。

それでは、まず10ページをお願いします。

第3条、利用者登録の申請についてですが、これまで申請関係については窓口での申請を基本としておりましたが、今回の改修に伴ってオンラインでの利用者登録を進めるため改正を行うものです。

変更点としましては、第3条2項1号にございます予約システムにより、利用者登録の事前入力をする方法というのを今回追加しております。

続きまして、第4条、利用者登録の決定についてですが、これまでは、登録をしていただいた申請者の方にID番号を記載した登録証というのを交付しておりましたが、運用の中で実際に使われるときの許可証等にもそのID番号が記載されて許可証自体に出ますので、今回の改正に伴い、登録証に関する条文を削除しております。

該当する箇所につきましては、新旧対照表の左側の現行にありますけども、そ

ちらの第4条、5行目からの下線部、並びに11ページ、第6条の1行目の下線部、それと、第7条3項の全文及び第8条の全文、それと12ページになりますけれども、第9条の全文が登録証に関する文言でありますので、ここについて削除を行わせていただきたいと思います。

続きまして、11ページをお願いしたいと思います。第6条、利用者登録事項の変更届についてですが、これまで利用者の登録の変更はありましたが、廃止に関する条文がありませんでしたので新たに追加し、様式等も改正をしております。

続きまして、第7条、利用者登録の抹消についてですが、同じ団体が重複して登録しているケース等が見受けられますので、新たに4号で「予約システムの利用が3年以上ないとき」を追加し、管理者側で重複登録してあります3年以上利用がない場合について整理を行いたいと考えて、条文を追加させていただいております。

次に、12ページですけれども、第8条から第12条までは、条文の削除を行った関係で数字等が上がっておりますので、そちらの改正となっております。

続きまして、第13条、利用申請等についてです。これまでは、申請及び許可については原則窓口のみで行っていましたが、新たな機能としましてオンラインで施設の申請及び許可が今回のシステム改修に伴って可能となりますので、それに伴い、新たに条文の追加を行っております。

続きまして、13ページをお願いします。システムの改修に伴って、第14条及び第15条につきましても、新たな機能としまして、使用料の徴収及び使用料の減免申請、こちらについてオンラインの中でできるようになりましたので、それに伴い新たな条文の追加を行っているものです。

続きまして、14ページ、別表の右側に予約申込期間というのがございます。そちらの中の右端にあります先着申込期間についてですが、システムの更新に伴いまして、これまで毎月15日から受付申込みをしておりましたが、更新後は、毎月8日から受付申込みができることに伴う日付の改正となっております。

最後になりますが、今回の改正に伴いまして、資料6ページから8ページの様式についても一部改正を行っているところでございます。

なお、この規則につきましては、令和8年3月23日から施行することとしております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

音光寺教育長 この予約システムを入れることによって、今までとどんなところが変わるかを教えてもらっていいですか。

川島課長。

川島社会体育課長 まず一番違うのが、オンライン上で申込みが可能となります。今のシステムも事前予約まではできますが、実際の申請とか許可の最終、本予約については、市役所の窓口もしくは公民館に出向いていただく必要がありましたが、今回のシ



システム変更により、出向くことなく携帯やパソコンで完結します。

併せまして、料金支払い関係もオンラインで可能となります。クレジットや電子マネーでの支払いができることとなりますので、市役所窓口に来ることなく、体育館及び公民館等の使用が可能になるというのが大きなところでございます。

音光寺教育長 コンビニ払いはどうなっていますか。

川島社会体育課長 コンビニ払いについても検討しましたが、導入した際に市財政負担の割合が増加する試算となりましたので、今回のコンビニ払い対応は見送りまして今後の検討課題としております。

音光寺教育長 使用される方については、相当利便性が高くなるというところです。  
では、今の説明について御質疑、御意見等はございませんか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、質疑がないようですので、採決をいたします。  
議案第32号は原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議なしと認め、議案第32号は原案のとおり可決することに決定いたします。  
次に、議案第33号、菊池市無形民俗芸能団体活動補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、事務局より説明をお願いします。  
坂本課長。

坂本文化課長 文化課の坂本です。

それでは、議案第33号、菊池市無形民俗芸能団体活動補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について御説明いたします。

17ページをお願いいたします。

提案理由といたしましては、令和7年5月9日に開催されました田島菅原神社神楽保存会の総会におきまして、平成13年、泗水町が発行されています泗水町史、それから昭和58年の熊本県菊池事務所発行の「菊池の概要」に、「田島神楽」と表記されていることから、保存会の名称を「田島神楽保存会」に変更することが決定されております。保存会より本課を通じて公益社団法人へ神楽の衣装購入の助成金を申請するに当たりまして、保存会より名称変更された報告を受けまして、設置要綱の一部を改正する必要が生じたことから上程いたしております。

それから、軽微ではありますが、補助金申請時の実施計画書、それから完了時の実績報告書の様式は正式名称となっておりますが、こちらの条文が正式名称で

記載されておりませんでしたので、併せて改正を行うものです。

改正内容は新旧対照表で御説明いたしますので、19ページ、20ページを御覧ください。

改正箇所は、現行の第3条12号に「田島菅原神社神楽保存会」と表記されていますが、これを「田島神楽保存会」に改めるものです。

それから、第6条第2号中の「民俗芸能実施計画書」を「菊池市無形民俗芸能実施計画書」に、それから、第7条第2項中の「民俗芸能実績報告書」を「菊池市無形民俗芸能実績報告書」に改めるものです。

18ページに戻りまして、附則になりますが、この要綱は、告示の日から施行し、改正後の菊池市無形民俗芸能団体活動補助金交付要綱の規定は、令和7年12月1日から適用することとしております。

以上で説明を終わります。

音光寺教育長　今回は名称等の変更ということです。  
ただいまの説明に御質問等ございますでしょうか。  
渡邊委員。

渡邊委員　今回の無形民俗芸能団体活動補助金ですけれども、これを活用している団体はどのくらいあるのかわかれば教えていただけますか。

音光寺教育長　坂本課長。

坂本文化課長　神楽を含めて民俗芸能団体は、菊池市に15団体あります。今回は、田島さんが「菅原神社」がついているのが「神楽保存会」という形で改正されておりますので要綱も改正するということです。

神楽関係の保存会の名称が正式名称かどうかと調べているところです。特に神社がついているところは確認をしております。また、後日そういうことが起こりましたら、こちらの要綱は改正していくという形になります。

音光寺教育長　よろしいですか。

渡邊委員　分かりました。

音光寺教育長　ほかにありますか。

委員一同　なし

音光寺教育長　では、質疑はないようですので、採決いたします。

議案第33号は原案のとおり可決することに御異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議なしと認め、議案第33号は原案のとおり可決することに決定します。

それでは、報告案件に入ります。

報告第19号、学校施設の耐力度調査の結果について、事務局より説明をお願いします。

岩根課長。

岩根学校教育課長 それでは、報告第19号、学校施設の耐力度調査の結果について、御報告いたします。

本年度予算において、泗水東小学校、七城小学校、七城中学校の校舎を対象に、学校施設における建物の構造耐力、経年による耐力機能の低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を総合評価する業務委託を行いました。この三つの学校は、古い部分で築50年を超えており、今後施設を改修するのか、または建て替えをするのかについて、今回の調査が一つの判断材料となるものでございます。

それでは、報告資料の3ページをお願いいたします。

3ページ目が泗水東小学校でございます。

網かけの部分が調査対象の建物となります。それぞれの建物に総合評価の点数を表示しており、4,500点以下の建物が所要の点数を満たしておらず、危険建物として建て替え事業の対象となる建物でございます。

4ページが七城小学校、5ページが七城中学校となっております。

それぞれ点数は記載のとおりとなっております。3校とも建て替え事業の対象となる建物があるところですが、築年数が古い七城小、七城中の学校施設から今後の計画を立てていくことになると考えております。また、七城小・中は隣接しておりまして、地域に1小1中の学校となりますので、今後の計画については、保護者や地域の意見を聴取しながら進めていきたいと考えております。

以上、簡単ですが御報告とさせていただきます。

音光寺教育長 今説明がありましたように、4,500点以下は危険性があるということです。

今後これを基に校舎をどうするかという本格的な検討に入るということですかね。

岩根学校教育課長 そうです。

音光寺教育長 ということです。

委員の皆さんから何か御質問はございませんでしょうか。

そこにありますように、先ほど説明がありました七城小学校・中学校を先に、その後、泗水東の順番ということですか。

岩根課長。

岩根学校教育課長 次年度予算、来年度予算で、旭志中学校も50年を超えていますので、旭志中学校の耐力度調査を実施する予定にしております。

段階的には七城小・中からというところで検討をしたいと考えております。

音光寺教育長 本年度いっぱい菊池南中学校の大規模改修が終了するということで、来年度からはまた次の学校ということです。また、その前にいろんな説明会等もやられていくことになると思います。

御質問等ありますでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では次に、報告第20号、菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況について、事務局より説明をお願いします。

北村指導主事。

北村学校教育課指導主事 失礼いたします。お手元の資料6ページを御覧ください。

1段目のグラフは、不登校及び不登校傾向のグラフとなります。

30日以上の不登校児童生徒は、11月末現在、小学校46名、中学校84名で計130名です。そのうち119名が昨年度も不登校でした。

また、10日以上30日未満欠席している不登校傾向の児童生徒は、小学生25名、中学生39名で合計64名です。

11月のいじめの報告は、小学校3件、中学校1件です。

中学校のいじめ事案につきましては、学校において教育相談等を組織的に行い、被害・加害側の生徒と保護者を含め、心のケア等を継続的に受けている状況です。また、被害生徒の学習支援についても学校全体として取り組んでおります。

小学校の事案につきましても、引き続き関係児童の状況を見守っている状況です。

続きまして、教育支援センター各教室の利用状況です。

11月末現在で32名が通級しています。正式に利用を申請している児童生徒の内訳は、小学校3年生1名、小学校6年生2名、中学校1年生8名、中学校2年生10名、中学校3年生11名となっております。

各教室におきまして、児童生徒の個々の通級状況に応じた支援や指導を継続しております。

資料の7ページから8ページを御覧ください。それぞれの教室の相談件数と相談内容の内訳を載せています。

4教室の11月の相談件数は、菊池教室49件、菊池南中校内教育支援センター0件、七城中校内教育支援センター0件、泗水教室46件、泗水中校内教育支援センター42件で、合計222件の相談等がありました。

今年度より設置しました菊池南中学校、七城中学校の校内教育支援センターの利用状況について説明いたします。

11月末時点で、菊池南中学校校内支援センターを利用している生徒は14名です。七城中学校校内教育支援センターは、今のところ利用の申請はなく、9月末と変わらない状況です。

また、11月初旬より指導員が不在のため、現在利用者がいる菊池南中学校校内教育支援センターは、授業が入っていない職員が来室する生徒の対応をしています。常駐している職員がいないため、11月の相談件数の正式報告はございませんが、利用する生徒に寄り添った対応ができるよう尽力していただいているところです。

資料の8ページ下段から10ページを御覧ください。続きまして、心の教室相談の利用状況です。

11月の心の教室相談件数は、菊池北中14件、菊池南中53件、七城中37件、旭志中29件、泗水中70件で、合計203件となっています。

相談内容としては、不登校や友人関係に関わるものが多く、それらが起因となる体調不良を抱えている児童生徒もおります。

学校ごとに相談件数に違いがありますが、中学校区内の小学校への訪問も増えており、今後、小学校との連携をより強化していくことが必要であると考えられます。あわせて、校内の巡回などを通して児童生徒の小さな変化も見逃さないように心がけ、関係機関との連携もスムーズに進めていくことができるよう取り組んでいるところです。

資料の10ページの2段目のグラフは、菊池市のスクールソーシャルワーカーへの相談件数となります。

11月は76件の相談でした。不登校や家庭状況、児童生徒の支援の仕方に関する相談が多く、主に学校からの要請に基づいて巡回支援を行いました。

最後に、同じページの3段目のグラフを御覧ください。

学校支援コーディネーターの相談対応件数は40件となります。こちらも不登校、家庭に関する相談が多く、不登校状況が続いている児童生徒について、専門機関との接続に関する内容が多くありました。

報告は以上となります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について御質問等ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、ないようですので、次に移りたいと思います。

報告第21号、菊池市市民会館の検討状況について、事務局より説明をお願いします。

坂本課長。

坂本文化課長 それでは、菊池市市民会館（文化会館・泗水ホール）の検討状況につきまして、昨日の議会審議会で御説明をいたしました。それから、今日の熊日の朝刊でも記事として出ているところになります。本日、教育委員さん皆様に御説明をいたします。

まず1番目の文化会館の現状と課題の整理についてでございます。

一つ目に、令和5年1月20日の市民会館あり方検討委員会において、文化会館は老朽化が進んでいるため、多額の費用がかかる改修が必要となった時点で閉館はやむを得ない、その場合は暫定的に泗水ホール1館のみで運用との協議結果が出されております。

二つ目に、令和6年10月25日、文化会館大ホールの照明機器の事故が発生いたしました。躯体中の幹線コードの劣化が原因と推測され、修繕に約4億円以上かかる見込みから、利用者の安全を考慮し、大ホールは閉鎖し、小ホール、練習室のみの運用としております。

三つ目に、文化会館は今年で築46年が経過し、設備等の多くは法定耐用年数15年を大きく超過し、どこに不具合が起きてもおかしくない状況であり、今後、小ホール、練習室を安全に使用するためには、館全体に関わる電気設備や給排水設備などの改修も必要となり、さらに約3億円以上の改修費用が見込まれます。

四つ目に、小ホール、練習室は、今年度上半期で約5,000人、年間で約1万人相当が利用しており、閉館する場合は、利用者や市民への周知に少なくとも1年は必要であると考えております。

以上のことを踏まえ、文化会館の設備はかなり劣化が進んでおり、改修せずに使い続けることは非常に厳しい状況にあります。しかしながら、現在も小ホール、練習室の利用が多い状況であり、性急な閉館は利用者に迷惑、混乱を来すため、市民への周知を十分に行う期間が必要であると考えております。

次に、文化会館の現状と課題の整理を踏まえまして、2番目の市民会館の今後の運用方針についてでございます。

一つ目に、令和8年度は文化会館と泗水ホール2館を運用し、文化会館は令和9年3月31日をもって閉館することとし、それまでの間は、閉館の周知、利用団体への説明を行います。

二つ目に、令和9年4月からは、市民会館あり方検討委員会の協議を踏まえ、暫定的に泗水ホール1館の運用といたします。

次に、3番目の指定管理の公募についてでございます。

一つ目に、今年度予算を確保して行いました低濃度PCB検査の結果は基準値以下で、PCB廃棄物に該当していないことを令和7年10月31日に確認できたことから、市民会館の運用方針を基に、令和8年度は文化会館、泗水ホールの2館運用として、1年間の指定期間の公募とします。

それから二つ目に、令和9年度から泗水ホール1館、指定期間は3年もしくは5年の公募といたします。

最後に、4番目の今後の対応といたしまして、令和8年度から検討していく事項を申し上げます。

一つ目に、泗水ホールも築31年を経過しており、いずれ大規模改修等の必要が出てまいります。そのため、今後の本市の長期的な文化振興施策を進める観点から、将来の市民会館のあり方を検討していく必要がございます。

二つ目に、文化会館の解体と併せて用地の賃貸借期間、令和20年3月31日までの取扱いを検討してまいります。

三つ目に、この検討については、庁内プロジェクトチームを立ち上げ、調査等を行いながら進めることといたします。

以上が文化課からの報告となります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について、何か御質問等ございませんでしょうか。

来年度は小ホールと練習室はそのまま使って、令和9年度から閉鎖ということで、泗水ホール1館のみの運用と。来年度から、今後の方針等の検討に入っていくということにしております。

それと、市民への説明について補足をお願いします。

坂本文化課長 今日、夜の19時から、まず、主な利用団体であります文化協会へ閉館の説明、それと、ここまでのいきさつをお話ししまして、いろいろ意見があると思いますので、その要望等を聞き入れてまいりたいと思います。

それから、新年明けまして、一応市民向けの閉館のお知らせというか説明を開催していくというところで考えております。

以上です。

音光寺教育長 市民に対しても丁寧な説明を行うということです。

何か御意見ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、ないようですので、これで報告案件については終わります。

その他に入ります。

事務局から何かありますでしょうか。

事務局 事務局からは特にございません。

音光寺教育長 それでは、本日の委員会はこれで閉会いたします。

皆さん御起立お願いします。お疲れさまでした。

— 了 —